

# 平成 28 年度 若者会議 【第 1 回】

発行 / 恵那市 総合戦略・人口減少対策チーム

## 若者が、地域の課題や人口減少対策について意見交換

次世代を担う若者世代のニーズを聴いて「移住・定住」や「人口減少対策」の実現を目指すとともに、若者の全市的交流による現状共有を目的として、市内 20～45 歳の市民のみなさまに集まっていただきました。

当日は 45 名の参加があり、地域の課題や人口減少対策について意見交換しました。

### ■日時：平成 28 年（2016 年）

7 月 16（土）

10：00～15：00

### ■場所：恵那文化センター

### ■当日参加者：45 名

（25 歳～44 歳の方が参加）

### ■プログラム■

○恵那市や各地域の方向性について（総合計画と地域計画）

○ワークショップ [午前]

**あなたは、これからも住み続けますか？**

○ワークショップ [午後]

**これからも住み続けるために ～人口減少対策を考える～**

○発表・閉会



## 「若者会議」って？

### ■会議の目的

- ①第 2 次恵那市総合計画（平成 28 年度～平成 37 年度）の将来像「人・地域・自然が輝く交流都市 ～誇り・愛着を持ち住み続けるまち～」に向け、次世代を担う若者世代のニーズを聴いて「移住・定住」や「人口減少対策」の実現を目指します。
- ②地域の若者が全市的交流することで、他地域の現状の共有化を図ります。

■対象（参加者） 市内在住の 20～45 歳の方（市内 13 地域からの選出、公募）

■開催頻度 年 2 回程度

### ■会議結果の展開

- 会議結果は、総合計画の進行管理主体である「総合計画推進市民委員会」に報告し、総合計画実施計画（行政が行う事業）に反映させます。
- 地域の課題や提案について、各地域自治体に共有します。

## あなたは、これからも住み続けますか？

午前のワークショップは、「あなたは、これからも住み続けますか？」をテーマに、居住地域で5つのグループに分かれ、今の暮らしの現状や課題などについて意見を出し合いました。

当日の意見は、地域・分野毎にまとめています。

### グループ編成 [午前]

- ①大井・長島・東野
- ②三郷・武並
- ③笠置・中野方・飯地
- ④岩村・上矢作
- ⑤山岡・明智・串原

## ①大井・長島・東野グループ

### ■子育て・教育

	良い・魅力	悪い・課題
全般	○親と同居しているため、祖父母が子育てを助けてくれる。	○医者が少ない（産婦人科）。 ○公園が少ない。外で安心して遊べる環境がない。
就学前	○元気プラザが広い（子育て支援施設が充実している）。	○こども園になり、親と先生のコミュニケーションが不足している。 ○あえて、こども園に統合する必要があったのか。
小学校	○小学校低学年までは子育てしやすい。 ○大井第二小の学童クラブでは、手づくりのおやつが出たり、宿題を見てくれる。	○東野では、放課後に子どもを預けるところがない。
中学校	○部活動に積極的に関わる親がいる（特に父親）。	○部活の選択肢が無い。サッカー部が無い。 ○西中は、新興住宅地から遠くて大変である。学校が遠いため、不審者や熊が心配であり、通学時の安全性が課題。



## ■地域環境・生活環境

	良い・魅力	悪い・課題
全般	○暮らすにはそれほど問題はない。 ○通勤が45分のできるため支障はない。	○リニアの工事で環境が危ない。 ○同級生が市外に出て戻らない。
生活基盤		○ネットワーク環境に課題がある。 ○水道水がまずい地域がある。 ○水道代が高い。 ○ゴミ袋が高い。
道路・交通	○名古屋へのアクセスが良い。 ○東京(3時間)・大阪(2時間)へもアクセスが良い。	○東野では、車の運転が出来なくなると、公共交通が無いので困る(病院、買い物)。 ○街路樹が少なく夏場に歩けない。 ○道路整備が必要(歩道整備、草刈り)。 ○細い道でも交通量が多く、子どもは危険。 ○中央通～R257は信号が多く時間がかかる。
文化・景観	○生活の中に歴史・文化がある。 ○近所の人(お年寄り)が、お祭りなどを教えてくれる。	○中山道沿いの景観に、統一性が無い。
生活環境	○図書館がきれいである。	○限られた場所でしか買い物が出来ない。 ○買い物(食品、日用品以外)は県外や市外でないため。 ○眼科が一つしかない。
コミュニティ	○地域の暖かさ(人とのつながり)を感じる。 ○友人・知人のネットワークが充実している。 ○東野は小学校が小さく、親同士の関わりがあり、学校活動に協力的である。	○地域の人分からない。 ○少しでも他者と違うと好きな眼で見られる。
地域活動		○自治会では年長者の意見が強い。若い人が意見を言いにくい。
<p>【その他、全般的な意見や提案】</p> <p>○住宅をすでに建ててしまっていることが、住み続ける理由である。</p> <p>○住むことにそれほど不便は感じていない。地域の人たちは優しいので、子どもには住み続けて欲しい。</p>		

## ■産業振興・交流

	良い・魅力	悪い・課題
就業環境		○(保育環境のみに視点を当てるのではなく、)親が働く環境が課題。 ○若者が住む為には、しっかりした職が必要。 ○仕事の種類が限られている。
産業振興		○宿泊場所が少ない。 ○企業へのサポートが弱い。 ○就農希望者のマッチングが不足している。新規でやらせてもらえる窓口がない。

## ②三郷・武並グループ

### ■子育て・教育

	良い・魅力	悪い・課題
全般	<ul style="list-style-type: none"> <li>○治安が良い。</li> <li>○子育てを助けてもらえる。</li> <li>○近所の人顔が分かるので、子どもを見守ってもらえる。</li> <li>○医療費の援助ありがたい。</li> <li>○同居に不安があったが、地域の親同士の繋がりがとても助かった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○習い事に不便。</li> <li>○子どもの送り迎えが大変。</li> <li>○子どもの遊ぶ場所がない。</li> <li>○公園がない、広場がない。</li> <li>○通学路に歩道がなく不安。</li> <li>○医療機関がない。</li> </ul>
就学前		<ul style="list-style-type: none"> <li>○佐々良木に保育園を。</li> <li>○地域に1つのこども園となり、子ども達の声が聞こえなくなった。以前は保育園を通して地域の交流をしていた。</li> </ul>
小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>○武並では、通年型の学童クラブができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○小学校が1クラスしかない。</li> </ul>

### ■地域環境・生活環境

	良い・魅力	悪い・課題
全般	<ul style="list-style-type: none"> <li>○街に近いが自然、田畑、山がある。</li> <li>○県道が近いが静かなところ。</li> <li>○外で遊べる。</li> <li>○家の周りが静か。</li> <li>○野菜がたくさん採れる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○若い世代が少ない。</li> </ul>
道路・交通	<ul style="list-style-type: none"> <li>○三郷は、19号、66号、中心市街地、名古屋への適度なアクセスがある。</li> <li>○交通の便が良い。</li> <li>○駅がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○車での生活が大前提。</li> <li>○利用し易い交通手段が欲しい。</li> <li>○三郷から武並駅への交通手段が無い。</li> <li>○公共交通（バス）の本数が少ない。</li> <li>○お酒を飲んだあとの帰りがタクシーしかない。</li> <li>○駅周辺に駐車できる場所がない。</li> <li>○インターがない。</li> </ul>
景観・自然環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自然が一杯。</li> <li>○自然がきれい。</li> <li>○空気がきれい。</li> <li>○水がきれい。</li> <li>○季節ごとの景色がきれい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○工業団地のゴミのポイ捨てが気になる。</li> </ul>
生活環境		<ul style="list-style-type: none"> <li>○武並では、ちょっとしたお店がない。豆腐一つ買えない。</li> <li>○カフェがない。</li> </ul>
コミュニティ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○昔の友人に会える。</li> <li>○人が柔らかい、暖かい。</li> <li>○地域との繋がりができた</li> <li>○上下の仲間が増えた</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○若者（独身者）の地域の繋がりが少ない。</li> </ul>
地域活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>○消防団に入ること、人のつながりができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域行事、奉仕活動が多い。</li> <li>○年齢にもよるが、消防団への考え方。人間関係ができるまでは大変。</li> <li>○子どもが生まれたときに消防団で選手をしていたのが理解できなかった。子育てと消防、仕事と消防の両立が課題。</li> </ul>

■産業振興・交流

	良い・魅力	悪い・課題
就業環境		<ul style="list-style-type: none"> <li>○仕事の種類が少ない。工業系ばかり。</li> <li>○地域の働き口がないので戻って来られない。</li> <li>○女性が働き、女性が定住できることが、少子化対策では。</li> <li>○女性の職種が少ない。女性が地域に残れる考えを。</li> <li>○子どもが下校するまでに帰れるような仕事がほしい。</li> <li>○子育て中の人働きやすいような仕事環境、働き方を企業に取り組んでほしい。</li> </ul>
産業振興・創業		<ul style="list-style-type: none"> <li>○女性が起業しやすい環境や、支援制度があるといい。</li> <li>○瑞浪商工会議所の創業補助がすごい。市と商工会議所の連携が重要。</li> <li>○何かを始めるときのハードルが高い。気軽に起業できる仕組みがあれば、女性にとってありがたい。</li> <li>○何かを始めたいと思っている人が気軽に集まれ、情報共有できる場（フリースペースなど）があるといい。</li> </ul>
<p>【その他、全般的な意見や提案】</p> <p>○瑞浪恵那道路の整備は、地元にもメリットがあるのか？</p>		



### ③笠置・中野方・飯地グループ

#### ■子育て・教育

	良い・魅力	悪い・課題
全般	<ul style="list-style-type: none"> <li>○飯地では、「出産・転入お祝いパック事業」を行っている。</li> <li>○子どもがのびのび育っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域に子どもが少ない。</li> <li>○近所の出生率が低下している。結婚も減少。</li> <li>○産科がなくて困る。</li> <li>○病院がない。救急車が遅い。</li> </ul>
就学前	<ul style="list-style-type: none"> <li>○飯地では、一時預かりを行っている。</li> <li>○乳幼児学級をきっかけとして地域に馴染めた。親同士が密になれる。</li> <li>○飯地こども園は人数が少ないが、身動きが取りやすい。自園給食や野菜作り、遠足など、いろんな体験ができています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○未満児保育がほしい。働くのを諦めているお母さんがいて生活がきつい。</li> <li>○保育士の現場の声をもっと聞くべきではないか。事務仕事が増えたとか、自園調理のことを言ったので異動させられた？などの声を聞く。</li> <li>○先生の人数が少ない。</li> <li>○飯地では再来年は新入園児が0人となる。今後どうなるか心配。</li> </ul>
小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>○小学校が少人数だが、家庭的な雰囲気です。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○飯地では子どもが少なく、全校複式学級となっている。</li> </ul>
高校		<ul style="list-style-type: none"> <li>○高校が遠く、通学が大変。親が送迎している。</li> </ul>



■地域環境・生活環境

	良い・魅力	悪い・課題
全般	○騒音なく暮らしやすい。大きな声を出しても迷惑にならない。	
生活基盤	○水道に加え、井戸・山水が利用できる。	○集合住宅を作って欲しい。 ○農地の宅地転用をしやすいしてほしい。 ○住宅新築の際の土地がないのではと思う。中野方ダムに残土地は？
道路・交通		○駅から遠く、交通費高い。 ○交通の便悪い。 ○飯地では、バスがなくなると困る。 ○道路狭く危ない。4WDの補助が欲しい。 ○ガソリン使用頻度が高いが価格が高い。 ○河合の信号は点滅式で良いのでは？
景観・自然環境	○自然に恵まれている。 ○季節ごとの景観がきれい。 ○蛍が見える。 ○星がきれい。	○雪が降ると大変（生活道路の雪かき）。 ○草刈りが大変。 ○鳥獣被害がひどい。 ○笠置山の整備（道路、ヒカリゴケ）が必要。 ○泳げる川がない。付知に行ってしまう。 ○田舎なのにあまり川がきれいでない。
生活環境	○中野方では、田舎だけど病院が近く、GS、スーパーがあり、最低限困らない。	○買い物が不便。買い忘れると大変。 ○コンビニが遠い。 ○笠置・飯地ではガソリンスタンドがない。
コミュニティ	○中野方では、地域の方との交流、連携が取れている。 ○笠置では、外から来た人がとけ込める。	○地区の将来を見据えた意見交換がない。 ○若者向けの議論がない。 ○同年代の参加者が少ない。 ○世代交代が遅い。若い人がいるのに、年寄りがいっまでも出てくる。 ○同世代や、世代を越えた意見交換が必要。 ○町にまとめ役、リーダーが必要。 ○中身の無い団体が多い。 ○人口が少なく、役が負担。役職が多い。 ○地域の役がすぐ回ってくる。 ○役が嫌なもの、町から出て行く原因では。
地域活動	○飯地では町が小さいので決定が早い。何かやろうと思うとすぐできる（例：ひとなる会）。 ○笠置では、振興事務所とコミュニティの人が熱心。	○細かい行事が多い。 ○消防団活動が負担。操法ありきで、子育てに参与できない。 ○大会の為の活動になってしまっている。本来の消防団活動がしたい。 ○消防団活動が辛い。温度差がすごい。
【その他、全般的な意見や提案】 ○地域の女性は地元に残って、外から旦那を連れてくるようにしては？		

■産業振興・交流

	良い・魅力	悪い・課題
就業環境		○勤務地の選択肢が少ない。 ○働き場所がない。 ○通勤に時間がかかる。 ○勤務先が遠い。片道で1時間20分、56km。

## ④岩村・上矢作グループ

### ■子育て・教育

	良い・魅力	悪い・課題
全般	<ul style="list-style-type: none"> <li>○狭い地域での子育ては大切。</li> <li>○今度、産科が出来るのは有り難い。</li> <li>○子どもの創造性等が延ばせる環境である。</li> <li>○本当は瑞浪あたりに住みたいが、祖父母の協力があり、子育て環境が良いので住めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○産んでも見てくれる人がいない（金銭面、仕事等）。</li> <li>○近くに頼れる人がいないと大変。</li> <li>○育てる人がラッキーだと思えないと子どもが産めない。</li> <li>○結婚おめで10事業より、「子どもが産まれた」とか「友人・知人を連れてきて移住した」ときのお祝い金の方が良い。</li> <li>○移住してもらおうより、嫁いできた人への支援も必要。</li> <li>○お嫁さんをもっと大切に。奥さんの居心地のよさが大事。安心して話せる人がいないと同居解消につながる。</li> <li>○息抜きの時間、息抜きできる仲間がほしい。</li> <li>○高齢者より若い世代に眼を向けた施策を。</li> <li>○こども園にしる中学校統合にしる、市民目線からすると、市が意見を聞いてくれたという実感が無い。意見を聞いてくれる実感があれば、他市の友人に自慢できる。</li> </ul>
就学前		<ul style="list-style-type: none"> <li>○未満児、一時保育ともに一杯。子どもを増やすには、預けられる環境が必要。</li> <li>○保育する場所がない為、二人目三人目を産む気になれない。</li> <li>○1日や半日だけでも面倒を見てくれる環境があるといい。</li> <li>○一時保育や近所の方でも良いので、子どもを見てくれる環境、制度を充実させてほしい。</li> </ul>
小学校		<ul style="list-style-type: none"> <li>○小学校の存続。</li> </ul>
<p>【その他、全般的な意見や提案】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○進学で必ず外に出る。いかに戻ってきてもらえるか。親世代が町の良さを見せてゆくことで、子どもも愛着を持ってくれるのでは。</li> <li>○中学校が統合されたら子供は戻ってこないのではないか。小学校もなくなったら確実に戻ってこない。</li> <li>○中学生をまちづくりに巻き込んでゆくと愛着や子どもの自信につながる。</li> <li>○子どもの頃から意見が反映される環境なら、出て行っても戻ってくる。</li> <li>○少子化対策として、保育料の無料化（未満児含む）が重要では。</li> </ul>		





## ■地域環境・生活環境

	良い・魅力	悪い・課題
全般	<ul style="list-style-type: none"> <li>○何もないところが良い。</li> <li>○30分～1時間の移動時間では不便さを感じない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○行政的な手続き（説明等）をもっと親切に行なって頂けると良いのでは。</li> </ul>
生活基盤	<ul style="list-style-type: none"> <li>○上矢作の市営住宅は良いところが多く、人口減の食い止めに一定の効果があると思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○住むところが確保できない。</li> <li>○空き家があるけど貸さないため、住みたい人が地域に入れない。</li> <li>○上矢作に家を建てる人が少なく、岩村に建てる人が多い。</li> <li>○都市から岩村に移住するとき、アパートではなく地域に入りたかった。</li> <li>○家を建てる時、空き家等がないため他所に流れてしまう。</li> <li>○リフォームの際に必要な制度があるといい（情報等）。</li> <li>○金銭面で援助する制度がいるのでは。</li> <li>○移住者にとっては住む場所とサポーターが永住の条件。</li> <li>○市営住宅では風呂桶が無い。</li> </ul>
生活環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>○日常生活支援や移動販売等で高齢者を支援している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○上矢作だが、地域で買い物をしたことがない。岩村や恵那に行ってしまうが、不便は感じない。</li> </ul>
コミュニティ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○隣近所の知り合いで支え合っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○移住者をどう迎え入れるかという地域の姿勢が大切。特に女性にとっては環境が重要。しきたりに従えという時代でもない。</li> <li>○仕事を主として暮らしていると、地域とのつながりが持ちにくい。</li> </ul>
地域活動		<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域を活性化させるには、リーダーを育成するための施策が必要かも。</li> <li>○地域を引っ張るリーダーが必要。上矢作には地域のリーダーが不足している。</li> <li>○地域の役が個人に集中してしまう。</li> <li>○いろんなことをチャレンジして、失敗しても受け入れられる環境が良いのでは。</li> </ul>
<p>【その他、全般的な意見や提案】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○住んでいる理由としては、結婚や子育てなど。</li> <li>○子どもが繋がると親同士も繋がる。</li> <li>○住んでいる人と他所から移住してくる人では、求めることが異なる。</li> <li>○住んでいる人が不便と思っている以上、出た人は戻ってこない。</li> <li>○今の親の世代が色々作っていかないと、子ども達も戻ってこない。</li> <li>○空き家改修の研修を行っては。</li> <li>○移住者の紹介に対する、奨励金事業を行っては。</li> </ul>		

## ■産業振興・交流

	良い・魅力	悪い・課題
創業	<ul style="list-style-type: none"> <li>○モノづくりの場としてはPRできる魅力がある（作業場所が広い、音出しOK、空き家をアトリエに など）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○空き家を活用するには、補助金では手入りが難しい。</li> </ul>

## ⑤山岡・明智・串原グループ

### ■子育て・教育

	良い・魅力	悪い・課題
全般	○近所のサポートがあるので、子育てしやすい。	○子どもが遊べる公園が近くにない。 ○子どもからお年寄りまでもっと交流の場がほしい。
就学前		○子どもを預けるのに不安。 ○女性が起業直後の収入の少ない頃（例：陶業）に、安く子どもを預かってもらえる場がない。 ○子どもの預かりの場（認可保育園等）をやりたいと考えており、行政も支援してほしい。 ○給食について、なるべく地産地消で安全なものを自園・学校給食で食べられるといい。地域の高齢者の役割づくりにもつながる。 ○給食センターで地元産の野菜を使うのに登録が必要で、審査項目も多く厳しい。
小・中学校		○教育内容を特化するなど（英語など）、子育て支援が強ければ、住みたい、帰って来る人が増えるのでは。 ○（再掲）給食がなるべく地産地消で安全なものが、自園・学校給食で食べられるといい。地域の高齢者の役割づくりにもつながる。 ○（再掲）給食センターで地元産の野菜を使うのに登録が必要で、審査項目も多く厳しい。
高校		○子どもが高校に通うのが不便。良い時間帯にバス、電車がない。 ○明知鉄道の料金が高い。



## ■地域環境・生活環境

	良い・魅力	悪い・課題
全般		<ul style="list-style-type: none"> <li>○「人口減少がひどいからなんとかしろ」と言われるのがイヤ。</li> <li>○若者の独身が目立つ。出会いもないが、シャイな子も多い。</li> </ul>
道路・交通		<ul style="list-style-type: none"> <li>○公共交通機関が少なく、高齢者にとって不便。乗り合いの仕組みがあれば協力したいのに。</li> <li>○瑞浪・豊田方面への道路が狭い。</li> <li>○市内中心部まで出て行くのに時間がかかりすぎる。</li> </ul>
生活基盤		<ul style="list-style-type: none"> <li>○下水道がなく浄化槽であるため、初期投資が高い。補助が欲しい。</li> <li>○空き家が年々増えていくこと。</li> </ul>
文化	<ul style="list-style-type: none"> <li>○串原では、伝統文化を重んじる心がある。</li> <li>○伝統芸能を残そうと若い世代ががんばっている。</li> <li>○自然を活かす知恵や伝統芸能や伝統文化を残していきたい。</li> </ul>	
生活環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自然が豊かで、それなりの距離にお店や施設もある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○お店、医療施設の不足。飲食店の減少で生活がしにくい。</li> <li>○地域によっては買い物難民が発生している。</li> </ul>
コミュニティ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○人が優しい。知り合いばかりで、いざというときに助け合うことができる。</li> <li>○地域の人と一緒にがんばる、助け合いの心。</li> <li>○不便さを人のつながりで補ってゆく。</li> </ul>	
地域活動		<ul style="list-style-type: none"> <li>○いろいろな時間帯、曜日で町民が集って話し合えるといい。</li> <li>○若い子たちがいるのに、地域の活動に参加してくれない。</li> <li>○高齢化のため、地域の行事や付き合いの負担が年々増えてゆく。</li> </ul>

## ■産業振興・交流

	良い・魅力	悪い・課題
就業環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>○リニア関係で仕事が増えることを期待。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○働ける場所が少ない。</li> <li>○勤務先まで遠い。</li> <li>○雇用の場が少なく、職種や業種も希望とマッチしないので若者が出て行く。</li> <li>○パートなどはあるが、正社員として働ける場が少ない。</li> </ul>
産業振興		<ul style="list-style-type: none"> <li>○農林業者が不足している。</li> </ul>

午後のワークショップは、「これからも住み続けるために～人口減少対策を考える～」をテーマに、3つの分野（①子育て・教育、②地域環境、③産業振興）で参加者の希望をとり、計4グループに分かれて意見を出し合いました。

当日の意見は、分野毎にまとめています。

### グループ編成 [午後]

- ①子育て・教育 A
- ②子育て・教育 B
- ③地域環境
- ④産業振興

## ①子育て・教育 A グループ

### ●妊娠・出産

- 不妊治療に補助をすべき。子どもが欲しくてもできない人がいる。
- 産科ができる中、助産師もほしい。

### ●こども園

#### 【園の運営】

- 夏休みも対応してほしい。
- 未満児がどこも一杯。未満児保育のない園もある。どこの園も公平にすべき。
- 親子行事が減ってしまった。先生からは「こども園は保育コースの子がいるから平日に行事ができない」との回答。
- バス代が高くなったので、バス遠足に補助をしてほしい。市のバス（公用車）を借りられないのか。

#### 【園の体制】

- 教育委員会、先生、保護者の三者による運営委員会を作りたい。
- 預かり保育が8回までと言われた。先生が制度を理解していないのでは？
- 先生とうまくコミュニケーションがとれない。何かあるとすぐに「市に言って」となる。
- 先生は園長に意見を言えず、園長は市に意見を言えない雰囲気がある。
- 保育士が少ないのでは。

#### 【子どもの安全】

- こども園の統合・新設予定地にヒ素が出たのできちんと対応してほしい。

#### 【保護者会】

- 保護者の負担が大きい。忙しいからこども園に預けているのに、役員として引っ張られるのは何かおかしい。

### ●学童保育

- 学童がない地域もある。祖父母が多く、必要な家庭が少ないためか。
- 学童の開設がすごく大変だった。もっと子どもの居場所を作ってほしい。山岡では、小学校での開所を要望したけど駄目だった。

### ●中学校

- 中学校の制服はほとんど使わない。必要？中学生の制服のリユースができないか。

### ●地域での子育て環境

- 三年前に移住したが、子どもを産むか迷っている。見てくれる環境がない。
- 祖父母が近くにいないと、費用負担を考えて子どもを産むことに躊躇する。
- 近所のおじいさん・おばあさんなど、資格がなくてもよいので少しの時間でも見てもらえるとありがたい。
- 地域で子どもを預かってくれるところがほしい。

### ●きめ細やかな子育て環境

- こども園に入れたくないので自主保育をやっている。
- 学力をつけさせたいという人もいるが、自然の中で過ごさせたいと思う。
- 小規模保育を立ち上げるのに、お互いに協力できるような窓口を。
- 多様な保育も大事だと思う。
- 発達障害は単に愛情不足だけでなく、環境が大事。医療にかからないための体づくりや、自作のお菓子づくりなど。子どもの身体を大切にすることが大切。
- 学校は、人数が少ないと統合となるが、人数が少ないからこそきめ細かさなど、いいところもある。

### ●子育てへの金銭的支援

- 他市では第3子出産からお祝い金。いっそ第1子からお祝い金ができるように。
- 保育料を無料にしてほしい。
- 「新婚おめで10事業」よりも、本当に困っているところを支援すべき。
- 恵那南高校だけ定期券への補助があるが、他校にないのはおかしい。

### ●子育て環境によるI・Uターン促進

- 市として、「子育て・教育・保育は県で一番」という策を出していただければ人は戻ってくる。



## ②子育て・教育 B グループ

### ●子育て中の居場所

- 元気プラザは大変ありがたい。
- 図書館がよい。
- コミュニティセンターで本が借りられてありがたい。維持してほしい。
- 公園がない。遊具は少なくともよいので、近場にあると良い。
- 子連れでいけるカフェや飲食店が増えれば良いと思う。
- 長島の chao カフェは評判が良く、大井の方も来ている。他の地域でも広がると良い。



### ●こども園

#### 【園の運営】

- 給食は各園での自園調理がよい。食育を今後も続けてほしい。
- 里山を活かした園づくりをしてほしい。
- こども園になって良かったところが多い反面、延長すると一分単位で料金が発生してしまう。
- 園によって待遇が違ふ。保育時間も違ふ。保育の質・内容も統一してほしい。
- 飯地では未満児保育がない。働きたくても働けない。子どもを預けて働きたいが、預けられる場所がない。
- 保育時間は様々な業種のことを考えると、7:00~18:00 くらいの幅があると良い。
- 保育時間は、朝は早い方がいい。通勤前に寄っていただけるとありがたい。
- 保育時間の延長は、必要な人だけの申請制にすればよい。柔軟に対応してほしい。
- 上の子が小学校という家庭が多いので、小学校と合わせてほしい。
- 夜遅くなると先生の負担が大きいのでは。むしろ土日に対応してもらえるとありがたい。
- こども園の運営時間は、社会実験として様々なパターンで試行してみたらどうか。
- 早朝専門の保育士を OB などを活用して確保しては。

#### 【園の体制】

- 現場の保育士の声をしっかり聞いて、よりよい保育を目指してほしい。
- こども園になって保育士が不足しているのか？事務が増えたのではないか。

### ●学童保育

- 北小は学童が長期休暇中しかないのが不便。親から転出を考えているとの相談あり。

### ●一時預かり

- 飯地では昨年から行っている。ありがたい。顔見知りばかりだからこそできるのかもしれない。

## ●病児・病後児保育

- 子どもの体調が悪いときに預けられる場所があるとよい。
- 病児・病後児保育サービスは、診療が必要であるなら使わない。
- 正社員や、休めない仕事の人であれば必要かもしれない。一人親に対しても支援が必要。
- むしろ、風邪を引かないための予防に力を注いではどうか。

## ●教育環境

- 飯地はすべて複式学級。新人の先生には大変で、子どもが先生を嘗めてしまう。
- 地域の人材を活用し、地域に愛着が持てる授業をすべき。
- 言葉遣い・マナー・スマホなど、市も含めた勉強会が必要。
- フリースクール的な感じで、多様な子が通える教室があるといい。
- 中学校は、学力向上で。社会で活躍できる人材を育てるべき。
- 北中は子どもが少ない反面、部活の選択肢が多いので、試合に出られない部活がある。
- 高校を残すには、魅力ある科づくりが必要。

## ●通学・移動

- スクールゾーン（通学路）の整備を進めることが大切。
- 通学路が心配。交通量、不審者、クマの不安など。
- 三郷から西中までの通学が、遠くて不便で危険。
- 登下校が一人になるのが心配。
- スクールバスが助かる。
- スクールバスの時間・本数を多様化してほしい。
- 習い事をするにも、市街地まで行く必要があり移動時間が多い。勉強時間が少なくて困る。
- 笠周から高校へ通うのは時間がかかる。バスがない。

## ●PTA等の保護者活動

- 敷地が広いので、草刈り等が大変。核家族の負担軽減を。
- 学校からの連絡がメール中心なので、仕事中に確認できなくて困る。
- 農村部に住む核家族世帯の負担が軽減されるようにしてほしい（消防団や地域行事、奉仕作業など）。

## ●子育てへの金銭的支援

- 出産祝い金がほしい（1人100万くらい）。
- 保育料が無料であれば嬉しい。「もう一人子どもを」と考えられる。
- 保育料を安くしてほしい。
- 保育料減免は、上の子が小学校、中学校であっても適用してほしい。
- 医療費を高校生まで無償化してもらえたら嬉しい。

## ●子育て中の就業環境

- 多様な働き口があれば。パートタイムの時間に融通が利くようになるといい。

### ③地域環境グループ

#### ●子育て

- 低学年までの子育て環境としては良いが、子どもの将来のことを思うと、子供のやりたいことが恵那ではできない。サッカーをやりたくて市外の中学に進学した。
- 子どもの頃に恵那で何を体験するかで、大人になって戻ってくるかどうかが決まる。
- 子どもたちへの支援をより手厚くすることで、定住につながる。子どもが住み続ける。
- 移住に力を入れるのもよいが、子ども達への支援を手厚くしてほしい。

#### ●雇用確保・創業

- 大都市の真似をするのではなく、小さい市としての取組が必要なのではないか。
- 子どもが戻ってくるほどの仕事がない。通勤できればよいが。
- 地元の人材を活かした起業できる仕組みが必要。
- 女性の起業、個人の企業を支援することで恵那の魅力アップを。
- 大企業を呼びよりも、小さな働き場を。個人レベルに起業に手厚い補助を。
- 年代によって困りごとがある。その、「お金を払ってでもしてほしいこと」が仕事につながる。
- 災害が少ないので、首都機能からサブ的機能の移転を。

#### ●生活環境

- 武並は名古屋まで座って通勤できるので良い。
- 地域で完結できる仕組みがあると、不便を感じない。
- 岩村は地域内に店も飲み屋もスーパーもあるので、子どもも不便に感じていないと思う。住み続けるのでは。
- 三郷・武並はお店がない。公共交通が少ない。習い事などで送迎が大変。
- 明智の生活圈（駅・病院など）は瑞浪市になってしまっている。
- 都市の縮小版的に商業施設があると、外へ出るという選択をしなくて済む。

#### ●地域活動（消防団活動）

- 消防団は年代によって考え方が違う。昔はとても嫌だったが、今は上下のつながりができてよかったと思う。
- 消防団の役割は、災害があった場合の活動。実動員は定員の半分もいない。仕事を優先せざるを得ない。
- 操法は無しでもよいのか。つながりが必要では。
- （操法で）一部の人に一定期間負担を強いるのはどうか。
- 子育ての時に選手だった。夫婦のコミュニケーションが取れず、安心して相談できなかった。
- 家族が応援できない消防団活動ではいけない。



## ●道路・交通

- 大人は車があるので不便を感じないが、子どもや高齢者など、車に乗れない人には公共交通が不便。
- 交通弱者が買い物に行けない。歩いていける範囲に友達がいない。お店もない。
- 大型バスではなく、10人程度の巡回バスが良いのではないかな。
- 三郷は、恵那市駅に行くバスはあるのに、最寄の武並駅に行くバスがない。
- 市街地と周辺部ではガソリン代などの負担が異なる。車がなければならぬ地域は大変。
- 子どもが高校生になったときに通える交通機関がほしい。今は車があるが、将来が心配。
- 中学校の統合でも、送迎の問題が発生する。
- 山岡では、始発（5：50）の電車に乗らないと恵那の高校に間に合わないので、毎日送り迎えしなくてはならず大変。
- 子供たちが満足できるバス交通や環境を。子供たちが利用しやすい公共交通こそ愛着につながるのでは。
- 暮らしやすさが確保できるような交通網の整備が必要。暮らしやすさを高めるための地域交通では。
- 通勤できれば住み続けることができる。道がよければ生活圏が異なっても住み続けられる。
- 道が広くなれば豊田の仕事に行ける。瑞浪・豊田との地域間連携が必要。
- 税収が減っていくのに、道路を増やすことに使うのか？今あるものの利便性を高めるのか？

## ●居住環境

- 空き家に対する相談、補助の充実を。
- 空き家を借りる際のハードルが高い。数が少なく、いきなり買うのも難しい。
- 空き家買い取りの前に、1年間ぐらいのお試しレンタル期間が必要かもしれない。
- 田舎暮らしがしたいと思ったが、田舎過ぎるのも困ると思って岩村に移住した。
- 市営住宅に入ろうと思ったが風呂釜がなかった。



#### ④産業振興グループ

##### ●交通・道路

- 通勤環境を改善すれば、人口減少に歯止めがかかるのでは。
- 大型車の通れる道路。豊田・明智線は道が狭くて、トラックやバスが通れない。
- 武並にインターチェンジを配置する。

##### ●就業環境

- 地元だと職種に限りがある。製造業に偏っている。
- パートやアルバイトの募集が多く、正社員の求人が少ない。
- Uターンしたとき、就職先を見つけるのに苦労した。知人の紹介でやっと見つかった。山岡では、瑞浪方面に働き口を求めに行く人が多い。
- 道路が良くなれば、通勤エリアも広がるかも。
- 交通費補助を市が出す。恵那に住みながら、豊田に通えるような環境を作っては。

##### ●産業振興・創業

- 起業支援がほしい。
- 地元の観光資源をPRできるような仕事があるといい。
- 事業をアピールできる場が必要。中津川の大企業に人が流れてしまう。
- いいものを作っても、伝える努力が足りない。
- 他の業種とのつながり。相談や情報共有の場が必要では。
- 恵那に戻りたい人は、やりたいことが定まっている人もそうでない人も要る。情報のマッチングで、その人に合った仕事を紹介できるよう整備すべき。
- 介護の現場は人が足りていない。介護は「働くのがキツイし、給料が安い」とイメージが悪く、今の事業モデルのままではいけない。良くなるように行政が力を貸してくれば。
- 情報が広く行き渡っていない。どう知ってもらうかを考える。



### ●観光・交流

- 観光客に分かりやすいルートを。
- リニアで下りてもらうための魅力づくりが必要。また、リニア駅から恵那への交通手段を充実させる。
- 点在している観光地をどう結ぶかが課題（交通手段の確保）。
- 景観を地区によって統一してゆく
- 観光ガイドができる、人・組織づくり。作っても地域の温度差がある。一度観光客への対応が悪いと、悪いイメージが付いてしまう
- 観光は地域で別々に動いている。全体で動けられたらと思う

### ●にぎわいの創出

- 駅前再開発。高校生が安心して集まれる場所を駅前に。若者が楽しめる店がほしい。
- 旧中山道には空き店舗が多い。空き店舗の活用を。

### ●長期的指針

- まちづくりのガイドラインがない。10年後を見据えて戦略と統一感をもってまちづくりを進めるべき。

## ワークショップの発表

ワークショップ終了後、各グループのナビゲーターが、それぞれ意見交換したことを発表しました。

参加者のみなさんは、他のグループの発表を、熱心に聞き入っていました。



## 閉会、参加者のご意見

閉会後に、参加者のみなさんに意見シート（アンケート）を提出いただきました。ここでは、そのご意見の一部を紹介します。

恵那市の人口増加、更には、子供連れの最後まで恵那で暮らし、また家族で住みたいと思える街になる様に、市としてぜひ、市民の意見を生かしてほしいと思います。

どの地域でも問題に直面していることは同じで、恵那市も恵那市と同じ恵那人の手でしっかりと解決していきたいと感じました。  
10年先の自分の子供達が住めやう、大好きな市にしていきたいという思いです。

広い恵那市を各地域から来られた代表の方と意見交換ができて非常に有効な時間でした。子育てをして行く上で、今後、こんな問題が出てくるかもしれないことも聞けて良かったです。

少子化への対策はいろいろありますが、行政にばかり求める意見が少なく、会議の内容はこうしたもので良かったのかな...と思っています。  
負担が多いとよくは言われていますが、負担をおおわいてはダメなところがたくさんあります。そのこと、個人個人の意識の違いを感じました。

テーマが広すぎて協議する時間が足りなくなりました。もう少し少人数を減らし、テーマを絞ったワークショップを行ったほうが良い。

午前中のワークショップでは、市の担当の方からしっかり参加者の意見を聞いて下さり、たくさん意見交流出来て良かったです。  
午後は市の職員さんから話される時間が長く、皆さんの意見も充分聞けなかったのが残念でした。やや消化不良です。

本日参加していただき、改めて「人が住む」という事には色々な課題がある事、市民は市が、自分事と看做す行政が、行なっていく事に関心を持ち、活用し、提案していくことが大切と感じました。  
今後には、自分の故郷に少しでも貢献できる生活していきたいと感じました。

恵那市の人口減少などの影響は、子育てにも大きく及びており、きびしい状況ではありますが自分は恵那に住み子育てをしていこうと思っています。

**当日は、多数のみなさまにご参加いただき、  
また、熱心な意見交換を行っていただき、誠にありがとうございました。**

■問合せ：恵那市役所 総合戦略・人口減少対策チーム 担当 井手、鈴木（TEL：0573-26-2111 内線 326）